

研究課題名：

胸部 CT において器質化肺炎様の画像形態を示す肺腺がんの病理学的検討

研究対象：

2002年1月1日から2014年12月31日の期間に国立がん研究センター東病院呼吸器外科・病理診断科において手術を行い、肺腺がんと診断された方々の診療録を対象とし、術前に施行した胸部CTで器質化肺炎様の画像であった肺がんの組織を評価するための情報収集を試みます。

研究の概要：

わが国において、肺がんは画像診断の進歩から早期に発見されることが増えていきます。しかし、極めて稀ですが、過去の肺炎の痕跡である器質化肺炎とCT画像の所見が酷似している肺がんが存在します。このような器質化肺炎様肺がんは手術後の予後が良好である事が報告されています。

しかし、なぜ予後が良好であるのかは現在解明されていません。今回の研究では、これら器質化肺炎様の肺がんの手術検体を病理学的に評価する事で予後が良好である原因を解明する事を目的としています。

研究の意義：

器質化肺炎様の肺がんが、病理学的にも予後が良好であることが明らかとなれば、本研究が今後の手術適応や術後の治療および経過観察方法に大きく貢献すると考えられます。

目的：

がん細胞の悪性度を病理学的に評価することで、器質化肺炎様肺がんがなぜ予後が良いのかを判明する事を目的としています。

方法：

2002年1月～2014年12月に国立がん研究センター東病院呼吸器外科・病理診断科において手術を行い、先端医療開発センター 臨床腫瘍病理部で肺腺がんとして診断された患者さんの診療録より情報収集を行い、切除された病変の組織を用いて免疫染色と呼ばれる悪性度を評価する検査を行い、免疫染色の結果を検討します。

個人情報保護に関する配慮：

閲覧する診療録には個人情報が含まれますが、患者さん個人が特定されないやり方で情報を収集します。対象となる患者さんの識別は、カルテからの情報を元に新規にデータベースを使って管理するため、患者さんの氏名などの個人情報が院外に出ることはありません。患者さん等からのご希望があれば、その方の診療録は研究に利用しないようにしますので、いつでも次の連絡先まで申し出てください。

照会先および研究への利用を拒否する場合の連絡先：

〒277-8577 千葉県柏市柏の葉6-5-1

国立がん研究センター東病院 呼吸器外科 市川智博

FAX 04-7131-4724/TEL 04-7133-1111

**研究責任者)**

国立がん研究センター東病院

先端医療開発センター 臨床腫瘍病理分野

分野長 石井 源一郎

**研究事務局)**

国立がん研究センター東病院 呼吸器外科 市川 智博